殺虫剤
脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤

サンケイ ダブルシューターSE™

農林水産省登録　第２４０５４号
性状：淡黄色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物：第四類第四石油類
有効年限：４年
包装：５００mℓ×２０

有効成分：脂肪酸グリセリド・・・・・・・７５.０％
　　スピノサド（化管法第１種）・・・５.０％

殺虫剤分類　一，５

TM：コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標です。

特長

○アザミウマ類・コナジラミ類・ハダニ類・ハモグリバエ類の同時防除が可能です。
○コナジラミ類の全生育ステージ（卵・幼虫・成虫）に優れた効果を発揮します。
○他薬剤に対する感受性が低下したハダニ類にも有効です。
○有効成分（スピノサド・脂肪酸グリセリド）単独使用では低活性の害虫も２成分の相乗効果で優れた活性と安定した効果を示します（コナジラミ類、ハダニ類）。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	１０アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	脂肪酸グリセリドを含む農薬の総使用回数	スピノサドを含む農薬の総使用回数
なす	ハダニ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類 オオタバコガ	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
ピーマン及びとうがらし類	ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類 オオタバコガ	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
トマト ミニトマト	ハダニ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類 オオタバコガ トマトキバガ	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
きゅうり メロン	ハダニ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類 ウリノメイガ	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
すいか	ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類 オオタバコガ	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
アスパラガス	ハダニ類 アザミウマ類	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
いちご	ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	２回以内	散布	－	２回以内
鱗茎類（にら、にら（花茎）を除く）	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫３日前まで	３回以内	散布	－	３回以内
豆類 （未成熟）	アザミウマ類 ハモグリバエ類	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	３回以内	散布	－	３回以内
キャベツ ブロッコリー	アザミウマ類	１０００倍	１００～３００ℓ	収穫３日前まで	３回以内	散布	－	４回以内 （定植前は１回以内、本圃では３回以内）
花き類･観葉植物	ハダニ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	１０００倍	１００～３００ℓ	発生初期	２回以内	散布	－	２回以内

作物名	適用場所	適用 病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	脂肪酸 グリセリドを 含む農薬の 総使用回数	スピノサドを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	アザミウマ類	２５０ｍℓ ／１０ａ	１０ℓ ／１０ａ	収穫前日 まで	２回以内	常温煙霧	－	２回以内

使用上の注意事項

●使用直前に容器をよく振ってください。
●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●散布の際は、葉裏等に散布むらを生じないようにていねいに散布してください。
●ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意事項を守ってください。
　○専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。
　　特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
　○作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後６時間以上密閉してください。
　○煙霧が直接植物体に当たると葉や果実に汚れを生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が作物体に直接当たらないよう措置をとってください。
●キャプタンを含む農薬またはアゾキシストロビンを含む農薬との同時施用もしくは近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
●花き類・観葉植物に使用する場合は、品種、栽培条件等により花弁、苞、葉に薬害を生じる場合があるので、事前に安全を確認して使用してください。
　特に結蕾期以降の散布は注意してください。
●蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
　○ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
　○受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等での使用をさけてください。
　○関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を
　　提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお病害虫防除所等
　関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して
　ください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
●常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

水産動植物に係る注意事項

●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を
　与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、低温な場所に密栓して保管してください。